

一級建築士試験

計画 建物事例集



一級建築士と学ぶ
建物事例集

2022

お試し版

かわいい建築女子部

一級建築士と学ぶ

建物事例集

お試し版

著：かわいい建築女子部

アイコン説明

建物には該当する(または類似する)アイコンを付けています。



改修



教育（学校等）



西洋宗教建築



事務所



集合住宅



図書館



著者・建築論等



店舗、役所、劇場など
人が集まる施設



都市計画、公園



独立住宅



美術館、博物館



病院



木造建築

日本の歴史的建築



伊勢神宮正殿

三重県伊勢市

建築様式は唯一神明造りと呼ばれ、日本古来の建築様式。切妻、平入の高床式の穀倉の形式から宮殿形式に発展したものと考えられ、檜の素木を用い、屋根は茅葺、柱は掘立てなど、その姿は簡素にして直線的。

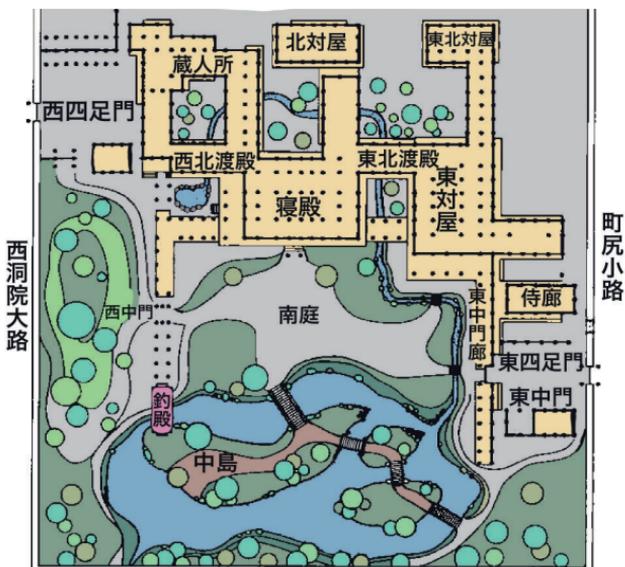
20年ごとに式年遷宮が行われ、東西にある2つの細長い敷地に新しく社殿を造替し、ご神体が移されている。

point

- ・神明造り
- ・平入り
- ・切妻屋根
- ・2本の棟持柱



- R01 伊勢神宮内宮正殿（三重県）は、柱は全て掘立て柱で、2本の棟持柱をもつ、神明造りの例である。（○）
- H26 伊勢神宮正殿（三重県）は、平入りで、切妻屋根に堅魚木と千木をもち、柱を全て掘立て柱とした神明造りの例である。（○）
- H19 伊勢神宮内宮正殿（三重県伊勢市）は、東西に隣接する南北に細長い二つの敷地のうち、式年遷宮によって交替で一方の敷地を用いて、造替が繰り返されている。（○）



寝殿造り(東三条殿)

平安時代、都の貴族の住宅の様式。主人が居住する寝殿を中心に、東西に渡殿という廊下で結ばれた対屋を、南には池のある大きな庭園を設けたもの。東西の対屋からは中門廊が南に向かって伸び、先端の池に臨む場所には釣殿を設けた。このような東西対称の配置を基本としたが、実際には非対称のものも多かった。床は板敷き、畳は人が座るところのみ置かれた。部屋を区切る建具はほとんどなく、仕切りには御簾や几帳を用いた。

point

- ・対屋
- ・渡殿

- R02 東三条殿（平安時代）などの寝殿造りは、柱は丸柱とし、寝殿の周囲には蔀戸を吊り、床は板敷きであったといわれている。
(○)
- H22 寝殿の左右や後ろに造られた独立の住屋は、対屋と呼ばれ、渡殿で連結されている。
(○)

東三条殿

平安京の貴族邸宅。寝殿造りの代表的なものとされる。摂関家藤原氏の京邸で、里内裏にもなり儀式場の性格をもっていた。1166年（仁安1）に焼失してからのち再建されなかった。

世界の歴史的建築

13. 19世紀末からの様式

アール・ヌーボー

アール・ヌーヴォーとは、「新しい芸術」を意味し、花や植物などの有機的なモチーフや自由曲線の組み合わせによる従来の様式に囚われない装飾性や、鉄やガラスといった当時の新素材の利用などが特徴。

- H20 アール・ヌーヴォーは、19世紀末にヨーロッパで流行した新しい装飾美術の様式であり、有機的な自由曲線の組み合わせを鉄やガラス等を用いて作り出している。(○)



楽器博物館(ベルギー・ブリュッセル)

出題建物
・タッセル邸

アール・デコ

アール・デコとは、1925年の4月から11月にかけてパリで開催された「現代装飾美術・産業美術国際博覧会」の略称を由来とする名称であり、1925年様式 (LE STYLE 1925)ともいわれている。1910年代から30年代にかけてフランスを中心にヨーロッパを席卷した工芸・建築・絵画・ファッションなど全ての分野に波及した装飾様式。

- H25 タッセル邸 (V. オルタ) — アール・デコ
(建築作品とその特徴の組み合わせ)
(×: アール・デコではなくアール・ヌーヴォー)



クライスラービルディング

ゼツェッシオン

オットー・ワグナーを中心として結成された。過去の芸術様式から分離して、生活や機能と結びついた新しい造形芸術の創造を目指した。オットー・ワグナーは、必要様式という考え方を示し、「芸術は必要にのみ従う」と主張した。

- H20 アドルフ・ロースは、「必要様式」という考え方を提示し、機能主義・合理主義の設計理論の先駆者とされており、代表的な作品に「ウィーン郵便貯金局」がある。(×: アドルフ・ロースではなく、オットー・ワグナー)



マジリカハウス(オットー・ワグナー)

出題建物
・ウィーン郵便貯金局



ハギア・ソフィア大聖堂

トルコ・イスタンブール

世界遺産

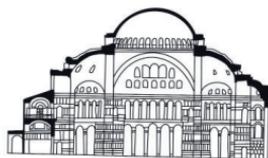
アヤソフィアとも呼ばれ、東ローマ帝国時代に建てられたキリスト教正教会の大聖堂。長期間にわたりイスラム教モスクとして改築を繰り返し使用されて現在の特徴的な姿となった。バシリカ形式の平面にペンデンティヴドームが架けられている。内部の壁面は多色大理石と金地モザイクで、その上部は漆喰で飾られている。

point

- ・バシリカ形式
- ・ペンデンティヴドーム
- ・ビザンチン様式



- H28 ハギア・ソフィア大聖堂（トルコ）は、バシリカ形式とドーム集中形式とを融合させた平面をもち、巨大なドーム構造によって内部に広大な空間を作り出したビザンチン様式の建築物である。(○)
- H15 ビザンチン建築のペンデンティヴドーム
(出題形式は記述と右図の組み合わせ) (○)





ヴォルムス大聖堂

ドイツ ラインラント・プファルツ

ドイツを代表するロマネスク建築。4つの円柱塔と2つの大きなドーム部分、端に聖歌隊席を有する巨大なそのバシリカ風の聖堂の外観をしている。内部はバシリカの三廊式。内陣にはアプス（壁面に穿たれた半円形、または多角形に窪んだ部分）がある。

point

- ・ロマネスク建築
- ・六つの塔
- ・二重内陣
- ・三廊式



H28 ヴォルムス大聖堂（ドイツ）は、東西両端にアプスを対置させた二重内陣と身廊の両側に側廊を設けたバシリカ形式で構成され、東西の内陣と交差部とに六つの塔をもつロマネスク様式の建築物である。

(○)

H23 ヴォルムス大聖堂は、東西両端にアプスを対置させた二重内陣、三廊式のバシリカで、東西の内陣と交差部とに塔をもつドイツのバロック建築である。

(×：バロック建築ではなくロマネスク建築)



カンピドリオ広場

イタリア ローマ
ミケランジェロ

複数の異なった形の建物をひとつの明快な対称軸線上に統合することで、建築史上初めてバロック的の広場を創案した。広場の周辺には美術館や宮殿などが建っている。



- R03 ローマのカンピドリオ広場（イタリア、16世紀）は、ミケランジェロの計画による、台形状の広場とアプローチとしての大階段、三つのパラッツォを対称的に配置することで、軸線を強調した、バロック的な広場計画の初期の事例である。
(○)

point

- ・ミケランジェロ
- ・バロック的な広場





イギリス ロンドン クリストファー・レン

7世紀に建設されて以降、何度も火災にあって、再建を繰り返ししてきた。現在の建物は18世紀にバロック様式により再建された。

大ドーム及び西側正面にある2つの塔の特徴を持ち、大ドームは三重殻の構造である。大聖堂の西正門ファサードは入口に2層柱廊を設け、下層はコリント式、上層はコンポジット式オーダーを採用している。



point

- ・バロック様式



ロンドンのセント・ポール大聖堂

H29 建造された年代の並び替え

- ローマテンピエット（イタリア）
- ル・トルネ修道院（フランス）
- ローマのバンテオン（イタリア）
- ロンドンのセント・ポール大聖堂（イギリス）

(C → B → A → D)

近現代建築



フランス パリ ガエ・アウレンティ（改修）

パリの「グラン・プロジェ」の一環として鉄道駅舎兼ホテルであった建物を、19世紀美術を展示する美術館として再生が行われた。

美術館の中央ホールは、かまぼこ状の大屋根（トレイン・シェッド）による吹き抜け構造をそのまま活用している。建物内部には鉄道駅であった面影が随所に残る。



point

- ・ 駅を美術館へ再生
- ・ グラン・プロジェ



オルセー美術館

H29 フランソワ・ミッテランらが主導したパリの都市計画である「グラン・プロジェ」においては、フランス革命 200 年を記念して、ルーブル美術館の大改修やオルセー駅舎の美術館への転用等、拠点整備による都市の再生を進めた。(○)

パリ（フランス）のオルセー美術館は、鉄道の駅舎を印象派の作品を中心とする美術館へ再生させたものである。(○)

H24
(H16)



カステルヴェッキオ美術館

イタリア ヴェローナ

カルロ・スカルパ (改修)

14世紀に築城されたゴシック様式の古城を保存再生した美術館。中世の石造りの建物に巨大なガラスやむき出しの金属が盛り込まれ、既存と新しく足された部分を組み合わせた建物になっている。

point

- ・古城を美術館に保存・再生



H29 カステルヴェッキオ美術館 (イタリア ヴェローナ) は、14世紀に建設された歴史的建造物である城を、美術館等として保存・再生させたものである。

(○)

H24 ヴェローナ (イタリア) のカステルヴェッキオ美術館は、歴史的建造物であった市庁舎を市立美術館へ再生させたものである。

(×：市庁舎ではなく古城)



ぎふメディアコスモス（みんなの森）

岐阜県岐阜市

伊東豊雄

市立中央図書館と市民活動交流センター、展示ギャラリー等からなる複合文化施設。1階、M2階は鉄筋コンクリート造とし、2階は鉄骨、木造（梁）。

2階はワンルームで図書館の開架書架としており、天井は木製の格子状の屋根で構造材としても働いており、県産材のヒノキが使用されている。天井から吊り下げられたの漏斗形状の半透明のかさ「グローブ」は、上部トップライトからの自然光を室内に拡散させ、また、夜にはグローブ内に設けられた照明のシェードにもなっている。

R02 んぐふメディアコスモス（岐阜県、2015年）は、木造格子屋根をもつ市立中央図書館や、市民活動交流センター、多文化交流プラザ及び展示ギャラリー等からなる複合施設である。

（○）

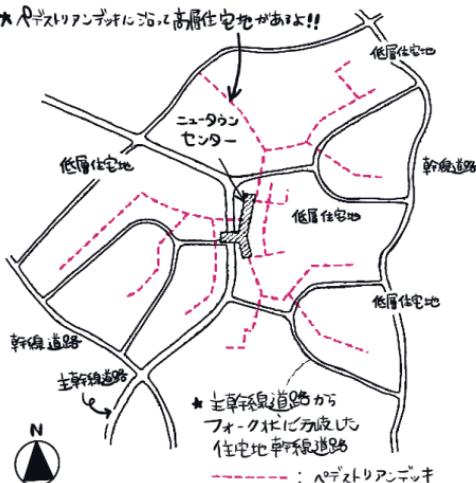
point

- 木造格子屋根
- 複合施設



*ニュータウンセンターから枝状に連続しているペDESTリアンデッキ!

*ペDESTリアンデッキに沿って高層住宅地があるよ!!



高蔵寺ニュータウン

愛知県春日井市

独立行政法人都市再生機構（旧日本住宅公団）が手がけた最初のニュータウン開発事業。マスタープランでは、ワンセンターという都市軸を持つ計画とされたが、開発が進む中でサブセンターが生まれ、単一センターとはなっていない。ショッピングセンターのある中心部の近くと西側には中層・高層の住宅が多く、開発が比較的新しい東側には低層の住宅が多い。

point

- ・ワンセンターを基本
- ・ペDESTリアンデッキ

H28 高蔵寺ニュータウン（愛知県）は、高度経済成長期に名古屋圏に流入し、増加した人口の受け皿として「近隣住区」等の都市計画理論に基づき開発された我が国で最初のニュータウンである。

（×：近隣住区ではなくワンセンター方式を基本としている）

H13 高蔵寺ニュータウンはマスタープランにおいて、ニュータウンセンターから枝状に連続するペDESTリアンデッキを計画した大規模なニュータウン。（○）

H10 「H10年の高蔵寺ニュータウンのマスタープランに関する設問」

- ・ニュータウンセンターは、単一センターとし、サブセンターを設けていない。（○）
- ・住計画は、近隣住区を単位とする階段構成を基本としている。（×）
- ・住宅幹線道路は、主幹線道路から、フォーク上に分岐している。（○）



サヴォア邸

フランス パリ郊外
ル・コルビュジェ

サヴァワ邸は「ピロティ」「屋上庭園」「自由な平面」「水平連続窓」「自由なファサード」からなる近代建築の五原則のすべてが、高い完成度で実現されている。1階はピロティ、2階に主要室、3階には屋上庭園がある。

point

- ・近代建築の5原則
- ・ピロティ
- ・屋上庭園

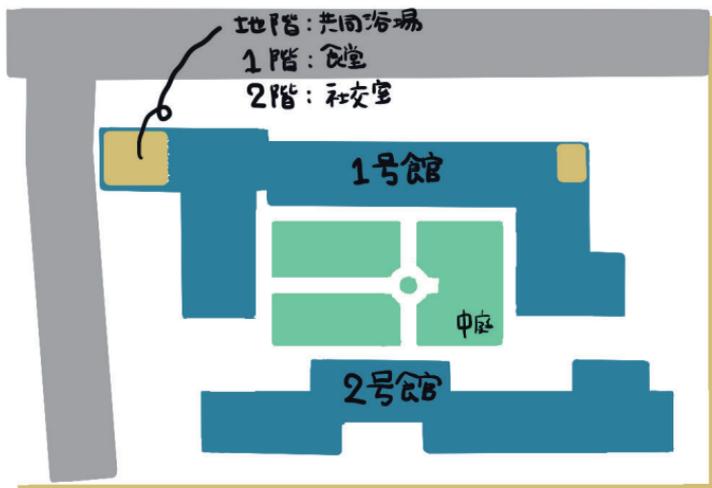


H25 サヴォア邸（ル・コルビュジェ）－ 近代建築の五原則
（建築作品とその特徴の組み合わせの間）

（○）

H20 ル・コルビュジェは、「近代建築の5原則」としてピロティ、屋上庭園、自由な平面、
(H14) 水平連続窓、自由なファサードを提示し、この原則を具現化させた作品は、「サヴォア邸」である。

（○）



同潤会江戸川アパート

東京新宿区

鉄筋コンクリート造の都市型中層集合住宅。中庭を囲んだ凹型の1号館(6階建て)と、直線型の2号館(14階建て)とが対面配置されている。当時は珍しかったラジオ、電話、エレベーターなどが備えられている。現在は、建替えられ、高層集合住宅となっている。

point

- ・関東大震災後の住宅難に対処
- ・社交室、共同浴場、食堂、洗濯場等の付帯施設

R02 同潤会江戸川アパート（東京都、1934年）は、社交室、共同浴場、食堂、洗濯場等の付帯施設を有する集合住宅として計画された。

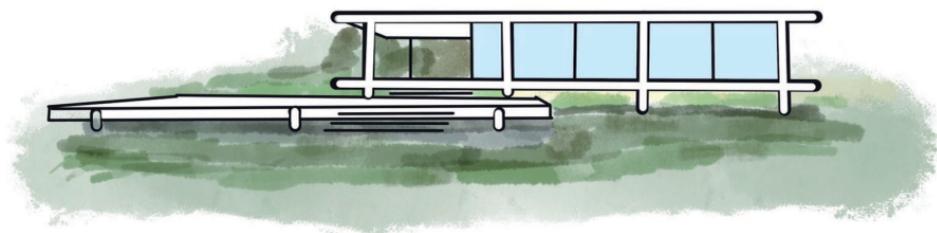
(○)

H24 同潤会江戸川アパートは、関東大震災後の住宅難に対処するために設立された同潤会による鉄筋コンクリート造の都市型アパートである。

(○)

H14 「同潤会江戸川アパート」（東京新宿区、1934年）は、社交室、共同浴場等の付帯施設を有し、住棟を平行に配置した低層集合住宅である。

(×：低層ではなく、中層集合住宅)



ファンズワース邸

アメリカ イリノイ

ミス・ファン・デル・ローエ

週末住宅。中央のコア以外に間仕切り壁を設けず、柱もない。外壁は全てガラス。

センターコアタイプで、その周囲を回遊できるようになっている。このようにフレキシビリティの高い空間はユニバーサル・スペースと呼ばれている。

point

- ・ 広大な敷地に建つ週末住宅
- ・ 鉄とガラス
- ・ ユニバーサル空間



H29 ファンズワース邸（ミス・ファン・デル・ローエ）は、広大な敷地に建つ週末住宅であり、H形鋼の柱に溶接された梁を介して屋根スラブ及び床スラブを取り付けた構造に特徴がある。

(○)

H11 ファンズワース邸（ミス・ファン・デル・ローエ）は、コンクリートによる構造の特徴を生かしたユニバーサル空間をもつ。

(×：コンクリートではなく鉄とガラス)



フランス国立図書館

フランス パリ
ドミニク・ペロー

図書館の機能のほとんどが地下化されている図書館。地上は四隅に高層のL字型を並べたような形状をしており、地下図書館の中央には深さ 20 m の大きな中庭がある。この中庭から自然光を取り入れている。

point

- ・緑豊かな中庭
- ・L字型の高層タワー



H29 フランス国立図書館（ドミニク・ペロー）は、緑豊かな中庭をもつ口の字型の基壇部と、その四隅に配置されたL字型の高層タワーから構成されている。

(○)

H17 「フランス国立図書館 (Dominique Perrault)」は、大きな三つのゾーンからなり、前庭から入る中央ゾーンは、傾斜屋根により高い天井高を有し、中央にガラス張りの積層式書架形式のライブラリーがある。

(×：設問のような建物形状ではない)



ユニテ・ダビタシオン

フランス マルセイユ
ル・コルビュジェ

1階のピロティ上部に中廊下、メゾネットタイプの住居を主とした高層集合住宅。一部に、オフィス、ホテル、保育所等の施設が入り、屋上庭園にはプールがある。

point

- ・高層住宅
- ・店舗、ホテル・屋上庭園等
- ・中廊下
- ・メゾネット



H30 マルセイユのユニテ・ダビタシオンは、ル・コルビュジェによって設計されたピロティのある高層の集合住宅であり、建築物内には住戸に加えて、店舗、ホテル、屋上庭園等の機能がある。

(○)

H22 ユニテ・ダビタシオン（ル・コルビュジェ）は、メゾネット型住戸を主とし、多様な施設を複合した高層集合住宅である。

(○)



みんなの家

岩手県陸前高田市

伊東豊雄、乾久美子、藤本壮介、平田晃久

東日本大震災で被災した岩手県陸前高田市の人びとの集いの場としてつくられた集会所。津波の塩害で立ち枯れたスギの丸太 19 本を柱に用い、さまざまな高さの居場所が内外に設けられる。ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展の日本館で展示されていた。現在は解体され、嵩上げされた中心市街地に移設予定となっている。

point

- ・津波で枯れたスギを使用
- ・集会場



R03 陸前高田のみんなの家（岩手県）は、東日本大震災の津波で立ち枯れたスギの丸太を用い、被災した人々の集いの場としてつくられた集会場である。

(○)

都市計画等



イタリア ウルビーノ

山間部の小都市であり、多くの文化遺産を擁する芸術の街として知られている。ルネサンス文化が繁栄した丘陵都市。

歴史的遺産を保存するだけでなく、再利用もしながら都市再開発をする方法を示した。



ウルビーノ都市基本計画

- H27 イタリアのウルビーノ都市基本計画は、炭鉱の産業遺産を再利用しながら都市全体を再開発したプロジェクトである。
(×：設問の炭鉱の産業遺産はない)

point

- ・丘陵都市
- ・歴史的遺産の再利用



岡山県倉敷市

重要伝統的建造物群保存地区

江戸幕府の直轄領の「天領」として栄え、歴史的景観を保全している。美観地区には倉敷川畔、本町、東町の地域があり、倉敷川畔は倉敷川に並び立つ柳並木と白壁の土蔵、また、近代的な建築物が建っている。



岡山県倉敷市

- R02 岡山県倉敷市では、本瓦葺塗屋造りの町屋、土蔵造りの蔵、白漆喰になまこ堀が建ち並ぶ倉敷川畔を「美観地区」とし、景観の保全を図っている。(○)

point

- ・土蔵造り
- ・なまこ堀
- ・美観地区



香川県高松市

香川県高松市

高松の中心市街地としてふさわしい、土地の合理的な利用を促進し、活力ある商業施設、良好な都市型住宅、快適な街路空間の形成を図ることを目標とし、タウンマネジメントプログラムによりまちづくりを行った。本格的なタウンマネジメントプログラム構築事業というのは全国的にも当該事業が初めて。

point

- ・タウンマネジメント・プログラム
- ・地域住民や事業者が主体



- R03 香川県高松市では、タウンマネジメント・プログラムにより、第三セクターを設立し、地域住民や事業者、地権者を主体としたまちづくりが実践されている。
(○)



福岡県北九州市

福岡県北九州市

縮退する社会の中でまちに賑わいを取り戻すため、現代版の家守（江戸時代における長屋の大家の呼称で、借家人の生活面の面倒や地区マネジャーのような雑事に至るまで仕事をこなしていた）の手法を用いて遊休不動産を再生し、都市型産業の集積を行う、新しいまちづくりの手法。行政・地域住民等と連携し、空き家等をスモールオフィスなどに転用している。

point

- ・民間自立型による家守事業者の設立
- ・定期的なりノベーションスクール



- R03 福岡県北九州市では、民間自立型による家守事業者の設立や定期的なりノベーションスクールの開催により、遊休不動産を活用した「リノベーションまちづくり」が実践されている。
(○)



ラドバーン

アメリカ合衆国ニュージャージー州ラドバーンのニュータウン開発における歩行者と自動車分離の計画手法。住宅地内を住民に関係のない車が通り抜けないようにするために、車の方向転換が可能な袋小路（クル・ド・サック cul-de-sac）を設け、その周囲に住宅群を配置した。ニュータウン開発に影響を与え、千里ニュータウンなどで採用されてる。

point

- ・歩車分離方式
- ・袋路
(クルドサック)

- R02 住宅団地内の道路の改修において、歩車共存を目的として、車の通行部分を蛇行させスピードを落とさせるラドバーン方式を採用した
(×：設間はラドバーンではなくボンエルフの内容)
- R01 住宅地の計画において、ラドバーン方式は、心理的効果を考慮した設計によって、犯罪抑止効果を高める手法である。
(×：設間はCPTED（防犯環境設計）である)
- H24 クルドサックは、車の折り返し場所を終端部にもつ袋小路である。
(○)

H23 年（2011）以前出題



フランス アミアン 世界遺産
盛期ゴシック建築、最大規模の教会。身廊部・袖廊部の三廊式であり、内陣には周歩廊と放射状礼拝堂がある。

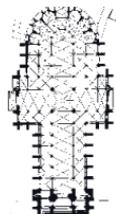
point

- ・三廊式
- ・盛期ゴシック建築



アミアン大聖堂

- H23 アミアン大聖堂は、身廊部・袖廊部ともに三廊式であり、内陣に周歩廊と放射状祭室とをもつフランスの盛期ゴシック建築である。(○)
- H15 右図の建築様式はルネサンス建築の二重殻ドームである。(出題形式は記述と右図の組み合わせ) (○)



イタリア フィレンツェ 世界遺産
アルノルフォ・ディ・カンピオ
フィリッポ・ブルネレスキ (大ドーム)
ドゥオーモ (大聖堂)、サン・ジョヴァンニ洗礼堂、ジョットの鐘樓の三つの建築物で構成される。巨大なドームはルネサンスを代表するもので、二重構造となっている。

point

- ・ルネサンス建築
- ・二重殻ドーム



フィレンツェ大聖堂の大ドーム

- H22 ルネサンス建築 - フィレンツェ大聖堂の大ドーム (F.ブルネレスキ)
(設問は「建築様式又は芸術様式」と「建築作品(建築家)」との組み合わせ) (○)
- H15 右図の建築様式はルネサンス建築の二重殻ドームである。(出題形式は記述と右図の組み合わせ) (○)



著作・建築論



広場の造形

カミロ・ジッテ

「広場」に主眼をおき、都市計画における実用性と芸術の問題について考察した。

point

・都市の広場の造形

- H21 都市計画の芸術的側面を重視し、古代、中世、ルネサンスのヨーロッパの都市における広場の造形を分析・評価した。
(○)



建築書

ウィトルウィウス

古代ローマ時代に書かれた最古の建築理論書といわれ、土木、機械、造兵技術など広い分野の技術について書かれている。

point

・最古の建築理論書

- H21 現存する最古の建築理論書といわれ、ルネサンスの建築家に強い影響を与えた。
(○)



工業都市

トニー・ガルニエ

工業を基盤とした近代都市で、都市は市街地、工業地区、保健・衛生地区の3つの地区で構成。

point

・工業と市街地の分離

- H25 T. ガルニエによる「工業都市」は、住居地域を緑地帯によって工業地域から分離させたものであり、生活と労働の両面に対応した近代性を備える都市の提案である。
(○)